

Case 2

過去に足を骨折し、手術を受ける。足の筋力低下と腰部脊柱管狭窄症により、腰部の痛みや重苦しさがあるため、家事動作が行えず外出頻度が減った B さんの実例

目標 Goal

- ✓ 家事動作がもっとできるようになる
- ✓ 買い物や旅行に行けるようになる



リフティブ
実施期間

2024年
5月開始

(週1回) × (7か月間実施)

2024年
11月卒業

リハビリ 内容

- 重錘を使用して足の運動
- 片足立ちや後ろ歩きなどのバランス訓練
- 段差を上ったり下りたりする訓練
- 施設の中や屋外の歩行訓練
- 近くの公園やお店へ行くなどの歩行訓練



リハビリ中の 変化

はじめは 5.8 秒だった歩行速度が、最終的に 4.4 秒になり、歩くスピードが徐々に速くなったことで、本人も歩行に自信を持てるようになっ
た。洗濯物を干す、料理を作るなど、少しずつできるようになり、ご家族と外出することが多くなった。

リフティブ卒業後



身体機能を維持させたいとご本人の希望があり、リハビリ特化デイを利用！



ご家族と温泉旅行へ行くことができた！



担当リハスタッフからのコメント



リハビリ初回時は「何もできなくなった。夫にやってもらつてばかり…」と悲観的な発言が多く聞かれていましたが、身体が良くなるにつれて自ら行動することが増え、旦那さまと役割分担をしながら家事動作が行えるようになりました。また、趣味の裁縫なども始めることができていました。今後も運動を続けながら楽しく生活を送っていただきたいです。

